

マキノ病院ニュース

第91号

—平成28年4月1日発行—

医療費が少し変わります。

事務長 池山 直樹

4月は年度の初めの月です。医療においては診療報酬の改定が実施されます。皆様に提供させて頂きます診療の対価を国が決めるものです。

診療報酬の本体でプラス0・49%、医科部分でプラス0・56%、薬価ではマイナス1・22%、材料価格でマイナス0・11%と報告されています。

ですが改定の影響は病院の形態で大きく異なります。大きな病院にとつては報酬が評価される改定であったようですが、マキノ病院のような地域に貢献する中小の病院は評価されなかつたようです。

当院において新しい評価で置き換えてみました。

医療療養病棟の医療提供内容の評価におきまして、地域医療構想の推進ということから病

床の機能別分類がさらに明確になり、医療依存度の低い患者さんを在宅に誘導せよという姿勢が強く打ち出された結果、改定率はマイナス2・6%と大きなものでした。

一般の病棟では内容の評価が若干ありましてプラスの0・8%でした。また、外来診療に於きましてはマイナスの0・18%でした。その結果、当院ではマイナスの改定になってしまいました（マイナス0・54%）。マキノ病院をご利用の患者様にとつては医療費が安くなるので良い結果になりそうに思えますが、入院時におきましては食事の自己負担分が現在の1食当り260円から360円に引き上げられました。入院時の食事療養費は1食当り640円ですので40・6%の

自己負担から56・2%への引き上げになります。さらに平成30年には1食当り460円に引き上げられますので自己負担率は71・9%になります。食事は入院しなくても必要なことから入院時も負担せよということのようです。今後も医療費の抑制の方向は変わりませんので医療費のマイナス改定と自己負担の引き上げは一層厳しくなっていくと思えます。厳しい医療環境の中ですが、当院では最低限の湖西北部の医療・福祉を守って行くために、地域包括ケアを柱に地域に特化すべく、昨年は小規模多機能居宅介護施設「はびねすマキノ」を開所し、外来診療に於いては泌尿器科を開設しました。今年はその充実をさらに促進させることとリハビリテーションの充実を図ろうと計画しております。大津赤十字病院や高島市民病院等大病

院で手術等高度急性期医療をお受けになられた患者様に、出来る限り早く地元に戻って医療やリハビリテーションを受けられるように、それに特化した病室であります地域包括ケア病床を8床から倍の16床に増床します。

また、病院を退院された後の対策として、訪問看護、訪問リハビリテーションと外来リハビリテーションの充実を図ってまいります。

選定療養費として大病院では、紹介状のない初診時や再診時に実費が請求されることになりましたが、当院ではその必要がありません。

今後も、地元の皆様に安心して利用していただけるように高島市北部地域の医療と福祉を職員一丸となって守って参りたいと存じております。

これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。

ドクターコーナー



今回は便秘のお話です。外科の私が便秘のなしをするなんて、科が違っていますか？といぶかしむ声が出るかもしれません。外科が扱う肛門の疾患の大部分は何かしら排便と関係しているのです。便秘が気持ち良く出るかどうかは外科ではとても重要なことなのです。

「便秘とは何でしょうか？」「便秘」という言葉が意味することは人によって違います。ある人は「何日も便が出ない」、別な人は「いきまないと出ない」「便が硬い」あるいは「下剤を飲まない」と便が出ない」ことを意味されていて、「排便後もスッキリしない、お尻が詰まっている感じ」と言えます。

便秘の話

外科 藤田 益嗣

「便秘」とおっしゃる方もおられます。実は医学的にもこれらの症状を組み合わせて診断をします。

割合として4分の1以上の排便で、硬くて困っている・いきまないと出ない・残便感・直腸や肛門が起こった便秘の場合は何と言つても

大腸の癌の心配をしなければなりません。慢性的な便秘の原因としては、①水分や食物繊維が少ないなど食べ物によるもの ②「うつ」など精神的な要因 ③生活環境の変化、足腰を痛めたリ体調がすぐれず寝込んだりすることによる運動不足 ④薬の副作用によるもの ⑤糖尿病や甲状腺の病気、動脈硬化 ⑥脊髄の損傷 ⑦大腸や直腸肛門の異常などが挙げられます。これらの原因が一つまたは幾つか組み合わせられて慢性の便秘をきたすと

言われています。

治療の原因を考えながら病態に応じて生活習慣を見直し、下剤を処方します。食生活として

特に①の食物繊維は重要です。野菜、特に根菜類や海藻などを食物として摂取すればいいのです。市販の食物繊維も有用ですが、一度にたくさん摂るのは危険です。また、原因の④は意外と多いのですが、副作用に便秘がある薬には生命に関わる重要な薬が多くあるので、自己判断で中断するのは危険です。処方されている医師とよくご相談ください。下剤もいわゆる「ピンクの粒の薬」や「便を柔らかくする白い錠剤（あるいは粉薬）」だけが全てではありません。どうぞ外科や内科の外来でご相談ください。一緒に気持ちの良い排便をめざしましょう。

診療科のご案内
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科
リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>